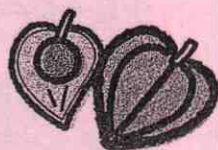


森のひろば

15号

2002年 8 月発行 宇佐市民図書館



この子を残して

永井 隆

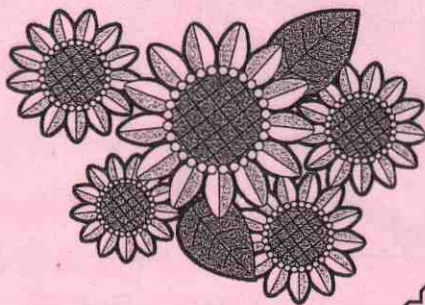
「うとうとしていたら、いつの間
に遊びから帰ってきたのか、カ
ヤノが冷たいほほを私のほほに
くっつけしばらくしてから、
「ああ、お父さんのおい……」
と言った。

この子を残してーこの世
をやがて私は去らねばならぬ
のか！

母のにおいを忘れたゆえ、
せめて父のにおいなりとも、
と恋しがり、私のねむりを
みさだめてこっそり近よる
おさな心のいじらしさ。

戦の火に母を奪われ、父の
命はようやく取り止めたものの
それさえ間もなく失われな
らぬ運命をこの子は知ってい
るのであろうか？

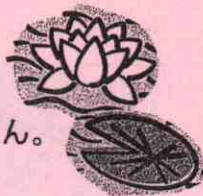
原子ばくだんが落とされてから、今年で57年になります。この戦争で多くの方が亡くなりました。上にのせている文の作者、永井隆さんは、長崎で医者をしていましたが、原ばくにあい、原ばく病で死んでしまいます。奥さんも、原ばくで亡くして、14才の男の子と、8才の女の子を残していかなければなりません。残された少しの時間を、子どもたちに話したいことなどを、あとで読んでもらうために必死に書かれた 本の一部です。



8月の特集



戦争・平和



『はだしのゲン』はマンガなので、「ほんの森」号では、借りられません。
読んでみたい人は、宇佐市民図書館まで、借りにきてね！

『むらさき花だいこん』 大門高子
 『まちゃんと』 松谷みよ子
 『ぼうさまになったからす』 〃
 『とうろうながし』 〃
 『番号のいれずみ』

ジャン・ピエール・ビトリ

『やさしい木曾馬』 庄野英二
 『お母ちゃんお母ちゃんむかえに
 きて』 奥田継夫
 『おばけ煙突のうた』 早乙女勝元
 『りゅう子の白い旗』 新川明
 『ムッチャン』 中川正文
 『せかいいちうつくしいぼくの村』
 小林 豊
 『ひろしまのピカ』 丸木 俊

かわいそうなぞう



『八月がくるたびに』 おおえひで
 『つばき地蔵』 宮川ひろ
 『さよならカバくん』 早乙女勝元
 『マアを返して下さい』
 わしおとしこ
 『象のいない動物園』 斉藤憐
 『かわいそうなぞう』 土家由岐雄
 『火の壁をくぐったヤギ』
 岩崎京子
 『びんたあめあられ』 水谷章三
 『少年の目』 黒薮次男
 『二十四の瞳』 壺井栄
 『砂の音はとうさんの声』
 赤座憲久
 (ほかにもたくさんあります)

2	1	8	2	5
7	6	4	7	3
4	3	1	3	2
5	2	6	1	9
1	8	1	5	4

七月号の
クイズの
答え

永井隆さんの本も、『この子を残して』
 以外にも11冊図書館にあります。
 ぜひ、読んで みてくださいね

うさしみんとしょかん
宇佐市民図書館

〒879-0453 宇佐市大字上田1017-1

でんわ 0978-33-4600

ファックス 0978-33-4679

